

れいわ 令和4・5年度の取り組みについて

しりょう
資料2

① ちいき にほんごきょういく たいせい 地域における日本語教育の体制づくり

はいけい かだい
背景・課題

- コロナ感染拡大の影響を受け、日本語教室が「休止」
または「縮小しての対面実施」となった
- オンラインでの実施になかなか踏み切れない
- ボランティアの意欲低下の懸念
- 日本語教室の人材（ボランティア）の確保が困難
- ボランティアのスキルアップの機会が不十分

- じゅこうきぼうしや じゅうぶんこた
・ 受講希望者のニーズに十分応えられていない
- にほんごきょうしつ あんてい うんえい こんなん
・ 日本語教室の安定した運営が困難

ほうこうせい
方向性

- ① にほんごがくしゅうきかい かくほ
日本語学習機会の確保
・ 滋賀県が実施する「日本語教育モデル事業」との連携 ※令和5年度実施
- ② にほんごがくしゅうかんきょう じゅうじつ
日本語学習環境の充実
・ 現在の取組を継続して支援するほか、課題解決に向けた新たな取組をサポート
・ 日本語教室の人材確保・育成を支援
・ 初期指導教室への日本語教師の派遣 ※令和5年度実施
- ③ すいしんたいせい こうちく
推進体制の構築
・ 本市の日本語教育全体をコーディネートする機能の構築に向けた検討
(日本語教育コーディネーターの配置など)

② じょうほうはっしんたいせい せいび 情報発信体制の整備

はいけい かだい
背景・課題

がいこくじんしみん じょうほうでんたつしゅだん きょうか
外国人市民への情報伝達手段の強化

ほうこうせい
方向性

- ・ 行政文書等の多言語化の促進
- ・ 通訳タブレットの増設
- ・ やさしい日本語の庁内での普及啓発

③ こくさいこうりゅうきょうかい れんけいきょうか 国際交流協会との連携強化

はいけい かだい
背景・課題

たぶんかきょうせい すいしん たいせいせいび
多文化共生をより推進するための体制整備

ほうこうせい
方向性

- ・ 市と協会との役割分担の明確化
 - ・ 多文化共生推進のための拠点整備
- ※ (仮称) 多文化共生センターの開設準備